

DatacloningWizard for Server V6.1 L10

DatacloningWizard for Server オンラインバックアップオプション V6.1 L10

本商品は、スタンドアロン環境で動作するPCサーバ、基幹IAサーバ、VMware ESXi仮想マシン、Hyper-V仮想マシンのシステムディスクに対するイメージバックアップ/リストア機能を提供します。正常に動作しているシステムのディスクをドライブ/パーティション単位でイメージ化してバックアップしておくことにより、誤操作等で起動できなくなった場合に素早くバックアップ時の状態に戻すことができます。従来は煩雑な手順が必要であったシステムの再構築を簡単に行うことができます。

さらに、従来、DatacloningWizard OnlineBackup for Windows Server(R)で提供していたWindowsサーバのオンラインバックアップ機能を、オプションライセンスとして提供します。

- ・ **動作対象**

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMERGY

- ・ **オンラインバックアップオプションの動作対象**

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMERGY

- **動作対象**

Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit) / Windows Server 2012 R2(64-bit) / Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86) / VMware

- **オンラインバックアップオプションの動作対象**

Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit) / Windows Server 2012 R2(64-bit)

1. DatacloningWizard 起動媒体の作成

仮想マシンのバックアップ/リストアを行うためには、事前に起動媒体を作成する必要があります。

また、物理マシンのバックアップ/リストアを行うための起動媒体を作成することもできます。

保有しているDatacloningWizardのライセンス数の範囲内で使用してください。

DatacloningWizardで作成する起動媒体について

ご利用になる環境や用途に応じた起動媒体を作成してください。

(1) 環境に応じた起動媒体の種類

- ・VMware ESXi仮想マシン用

VMware ESXiの仮想マシンをバックアップ/リストアするための起動媒体です。ISOイメージファイルを作成します。

- ・Hyper-V仮想マシン用

Hyper-Vの仮想マシンをバックアップ/リストアするための起動媒体です。ISOイメージファイルを作成します。

- ・物理マシン用

PRIMERGYシリーズ、PRIMEQUEST 4000シリーズ、PRIMEQUEST 3000シリーズをバックアップ/リストアするための起動媒体です。ドライバを追加した起動媒体を使用する時に作成します。ISOイメージファイルを作成し、CD-R/RWまたはDVD-R/RWなどのリムーバブル媒体に書き込み、起動媒体を作成します。また、USBメモリなどのUSBメディアに起動媒体を作成することもできます。

2019年3月までに発表されたPRIMERGYシリーズをバックアップ/リストアする場合には、必ず起動媒体を作成してください。

(2) 用途に応じた起動媒体の種類

- ・DatacloningWizard起動媒体(通常使用)

通常のバックアップ/リストアを実行する起動媒体です。ネットワーク設定を行うことでネットワーク経由によるバックアップ/リストアが可能です。

- ・リカバリ起動媒体

リカバリ専用の起動媒体です。応答ファイルを使用することで、リストア時の設定を省略できます。

リカバリ起動媒体と一緒に応答ファイルやバックアップイメージファイルを格納することができます。

(3) VMware ESXi仮想マシン用のドライバの準備

VMware ESXi仮想マシンで、VMware準仮想化、LSI Logicパラレルのハードディスクコントローラー、VMXNET 3のネットワークアダプターを利用している場合は、事前にドライバを入手しておく必要があります。

また、vSphere Web Clientのリモートコンソール画面を利用する場合には、VMware ESXi仮想マシン用のマウスドライバを入手しておく必要があります。

vSphere Clientのコンソール画面を利用する場合はマウスドライバは必須ではありませんが、VMware ESXi仮想マシン用のマウスドライバを利用することにより、マウス操作をスムーズに行えます。

入手した各ドライバを起動媒体を作成する時に追加し、ドライバを組み込んだ起動媒体を作成します。

ドライバの入手方法の詳細は商品に添付のユーザズガイド、および、関連URLに記載されているお客様向けURLのDatacloningWizardの製品情報を参照してください。

起動媒体の作成に関して

起動媒体を作成するために、以下のツールを準備する必要があります。事前に必要なツールをご確認のうえ、インストールしてください。インストールの際には、留意事項(起動媒体作成のためのツール(Windows ADK)のインストールについて)を参照してください。

(a) Windows ADK for Windows 10

以下の機種の起動媒体を作成する場合に使用してください。

- ・ 2019年3月までに発表されたPRIMERGYシリーズ
- ・ PRIMEQUEST 3000シリーズ
- ・ Hyper-V の仮想マシン
- ・ VMware ESXiの仮想マシン

起動媒体の作成はWindows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016、Windows Server 2012 R2、Windows 11、Windows 10、または、Windows 8.1上で行ってください。

2. ディスクバックアップ・パーティションバックアップ

(1) ディスクまたはパーティションのバックアップイメージ作成

製品DVD、または、起動媒体で起動して、ディスクまたはパーティションの内容をバックアップし、イメージファイルとして保存します。

(2) サポートファイルシステム

Windows オペレーティングシステムのファイルシステムであるNTFS、FAT12/16/32および、Linux のファイルシステムであるEXT2/EXT3/EXT4/XFS について、実際に使用されているデータのみを処理するため、高速なバックアップが可能です。

(3) イメージファイル分割

イメージファイル分割機能により、CD-R/RW、DVD-R/RWの媒体のサイズにイメージファイルを分割してバックアップを行えます。

(4) パスワード保護

イメージファイルの不正利用を防ぐため、イメージファイルをパスワード保護します。

(5) 高性能で高圧縮率な圧縮機能

高圧縮のイメージファイルを高速に作成できます(圧縮前の50-60%)。

(6) ネットワークドライブにバックアップイメージファイルを格納できます。

3. ディスクリストア・パーティションリストア

(1) バックアップイメージファイルからの復元

製品DVD、または、起動媒体で起動することで、ディスクまたはパーティションのバックアップイメージファイルをディスクまたはパーティションに復元します。ハードディスク交換時など、ハードディスクにデータが何も入っていない状態でもシステムを復元できます。

(2) サポートファイルシステム

Windows オペレーティングシステムのファイルシステムであるNTFS、FAT12/16/32および、Linux のファイルシステムであるEXT2/EXT3/EXT4/XFS(*1) について、実際に使用されているデータのみを処理するため、高速にリストアできます。また、ディスク交換時に異なる容量のディスクだった場合には、リストア時にパーティションサイズを変更してリストアできます。

(*1) パーティションサイズを変更してリストアはできません。

4. 仮想環境のバックアップ/リストア

(1) 仮想ホストと仮想マシンのバックアップ/リストア

VMware ESXi、および、Hyper-Vの仮想ホストのシステムディスク、仮想マシンのシステムディスクのバックアップ/リストアができます。

仮想ホスト、仮想マシンをDatacloningWizard起動媒体で起動してバックアップ/リストアを行います。

VMware ESXi仮想マシンの場合は、vSphere Web Clientのリモートコンソール画面、または、vSphere Clientのコンソール画面でDatacloningWizardを操作します。また、Hyper-Vの仮想マシンの場合は、Hyper-Vのコンソール画面でDatacloningWizardを操作します。

仮想マシンを構成する情報はバックアップ/リストアしません。また、リストア時に仮想マシンや仮想マシン上のハードディスクの作成は行いません。

そのため、仮想マシンのリストアを行う場合、バックアップ時と同じ構成/環境で仮想マシンや仮想マシン上のハードディスクをあらかじめ作成しておく必要があります。

(2) 仮想ホストと仮想マシンの対応OS

VMware ESXi 8.0、VMware ESXi 7.0、VMware ESXi 6.7、VMware ESXi 6.5、および、VMware ESXi 6.0の仮想マシン、Windows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016、および、Windows Server 2012 R2のHyper-Vの仮想マシンのシステムのバックアップ/リストアができます。

仮想マシン上で動作する以下のOSのシステムのバックアップ/リストアができます。

- Windows Server 2022
- Windows Server 2019
- Windows Server 2016
- Windows Server 2012 R2
- Red Hat Enterprise Linux 9
- Red Hat Enterprise Linux 8
- Red Hat Enterprise Linux 7
- Red Hat Enterprise Linux 6

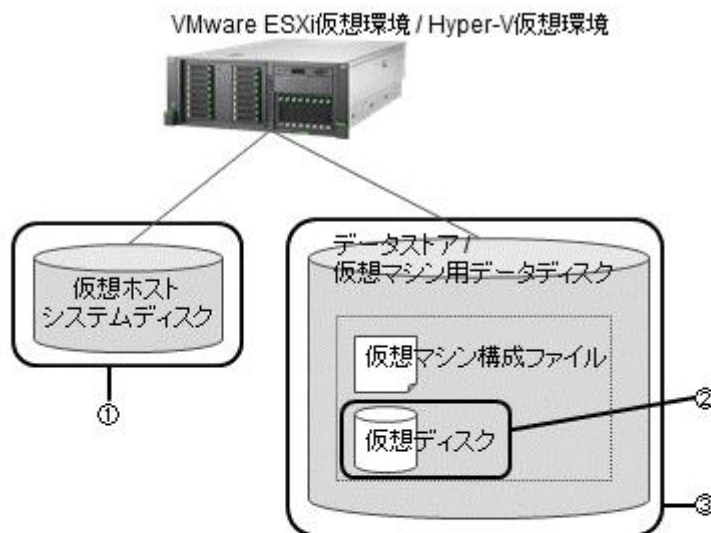
対応する仮想ホストと仮想マシンのOSの一覧は、下記の「仮想ホストと仮想マシンの対応OS一覧」を参照してください。

(3) VMware ESXi 8.0、VMware ESXi 7.0、VMware ESXi 6.7、VMware ESXi 6.5、および、VMware ESXi 6.0のシステムバックアップ/リストア

VMware ESXi 8.0、VMware ESXi 7.0、VMware ESXi 6.7、VMware ESXi 6.5、および、VMware ESXi 6.0のシステムディスクのバックアップ/リストアができます。ご使用に際してはバックアップ時に専用のオプションを指定する必要があります。詳細は製品に添付のユーザズガイドを参照してください。

なお、データストア領域(VMFS領域)を対象としたバックアップ/リストアはできません。

仮想環境のバックアップ/リストア対象



- ①仮想ホスト(物理マシン)のシステムディスクをバックアップ/リストアできます。
②VMware ESXi、Hyper-Vの仮想マシンのディスク(仮想ディスク)をバックアップ/リストアできます。
③Hyper-Vの場合、仮想マシンの情報を格納しているデータディスク(物理マシンのディスク)をバックアップ/リストアできます。
VMware ESXiの場合は、データストア(VMFS領域)を対象としたバックアップ/リストアできません。

仮想ホストと仮想マシンの対応OS一覧(Windows)

○:対応しています - :対応していません

仮想ホスト	仮想マシンのOS			
	Windows Server 2022 (64ビット)	Windows Server 2019 (64ビット)	Windows Server 2016 (64ビット)	Windows Server 2012 R2 (64ビット)
VMware ESXi 8.0	○	○	○	○
VMware ESXi 7.0	○	○	○	○
VMware ESXi 6.7	○	○	○	○
VMware ESXi 6.5	-	○	○	○
VMware ESXi 6.0	-	-	○	○
Windows Server 2022 Hyper-V	○	○	○	○
Windows Server 2019 Hyper-V	○	○	○	○
Windows Server 2016 Hyper-V	-	○	○	○
Windows Server 2012 R2 Hyper-V	-	-	○	○

仮想ホストと仮想マシンの対応OS一覧(Linux)

○:対応しています - :対応していません

仮想ホスト	仮想マシンのOS					備考
	Red Hat Enterprise Linux 9 (64ビット)	Red Hat Enterprise Linux 8 (64ビット)	Red Hat Enterprise Linux 7 (64ビット)	Red Hat Enterprise Linux 6 (64ビット)	Red Hat Enterprise Linux 6 (32ビット)	
VMware ESXi 8.0	○(注1)					注1:ネットワークアダプターのタイプに「E1000」を利用している仮想マシンには対応していません。
VMware ESXi 7.0	○(注1)					
VMware ESXi 6.7	○(注1)	○(注1)	○(注1)	○(注1)	○(注1)	
VMware ESXi 6.5	-	○(注1)	○(注1)	○(注1)	○(注1)	
VMware ESXi 6.0	-	-	○(注1)	○(注1)	○(注1)	
Windows Server 2022 Hyper-V	○	○	-			
Windows Server 2019 Hyper-V	-	○	○	-	-	
Windows Server 2016 Hyper-V	-	○	○	○	○	
Windows Server 2012 R2 Hyper-V	-	-	○	○	○	

5. Windows上でのオンラインバックアップ/リストア

オンラインバックアップを利用するには、ご利用になる環境に応じたオプション商品の購入が必要です。

「DatacloningWizard for Server オンラインバックアップオプション サーバライセンス V6.1」

(1) オンラインバックアップ

Windows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016、Windows Server 2012 R2が起動している状態でバックアップを行うことができます。

Windowsの標準機能であるボリュームシャドウコピー (VSS) 機能により、システムやアプリケーションが使用しているファイルもバックアップすることができます。動作中のシステムボリューム (Cドライブ) のバックアップも可能です。

VSS機能に対応しているアプリケーション (Microsoft SQL Server 2017など) はデータベースサービスを停止せずにバックアップを行うことができます。(注1)

ディスク単位でのバックアップ (ディスク上のすべてのパーティションを一括してバックアップ)、または、パーティション単位でのバックアップが可能です。

(2) オンラインリストア

リストア先のパーティションがアンマウントできる場合、Windows上からリストアを行うことができます。

動作中のシステムボリュームへのリストアはできません。

(3) マルチボリュームでバックアップを実施

オンラインバックアップ実行時、複数のパーティションに分散して配置しているデータベースなどのファイルの一貫性を保持してバックアップを行うことができます。これら関連付けられた複数のボリュームをマルチボリュームと呼びます。

バックアップ対象として選択したディスク / パーティションに関連するパーティションを検索し、それらを同時にバックアップすることができます。(注2)

バックアップ時には同時にバックアップされたディスク / パーティションのイメージファイルを管理するイメージ管理ファイル (FCMファイル) とディスク / パーティションのイメージファイル (FC2ファイル) が作成されます。

イメージ管理ファイルを選択してリストアを行うことにより、同時にバックアップされているディスク / パーティションをまとめてリストアでき、バックアップ時点の一貫性を保持した状態を復元できます。

(4) バックアップのスケジュール実行

バックアップの実行をスケジュールできます。

以下のスケジュール実行が可能です。

・一回のみ

一回のみ実行する日時が設定できます。

・毎日

毎日実行する時刻が設定できます。

・毎週

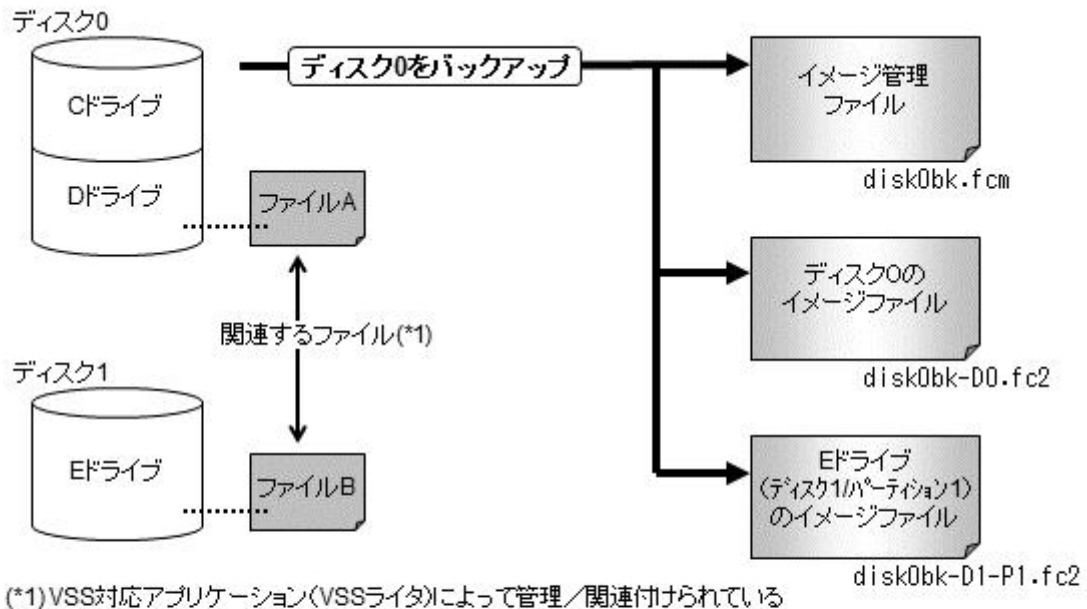
実行する曜日、時刻が設定できます。

・毎月

実行する月、日、時刻が設定できます。

(注1) バックアップしたイメージファイルをリストアした後、必要に応じてデータベースアプリケーションの機能を利用してログのリカバリ / ログのリセットなどの処理を実施してください。

(注2) 関連するパーティションの検索にはボリュームシャドウコピーの情報 (VSSライタの情報) を利用します。ボリュームシャドウコピーに対応していないソフトウェアが利用している領域については関連性の検索は行われません。



バックアップ対象としてディスク0を選択し、バックアップを実行した場合、ディスク0のDドライブのファイル(ファイルA)に関連するファイル(ファイルB)がディスク1のEドライブに存在するため、ディスク1のEドライブも同時にバックアップされます。(バックアップ対象の選択時にディスク1のEドライブも同時にバックアップするかどうかを確認するメッセージが表示されます。)

6. Windowsのシステム復旧に必要なパーティションを一括してバックアップ/リストア

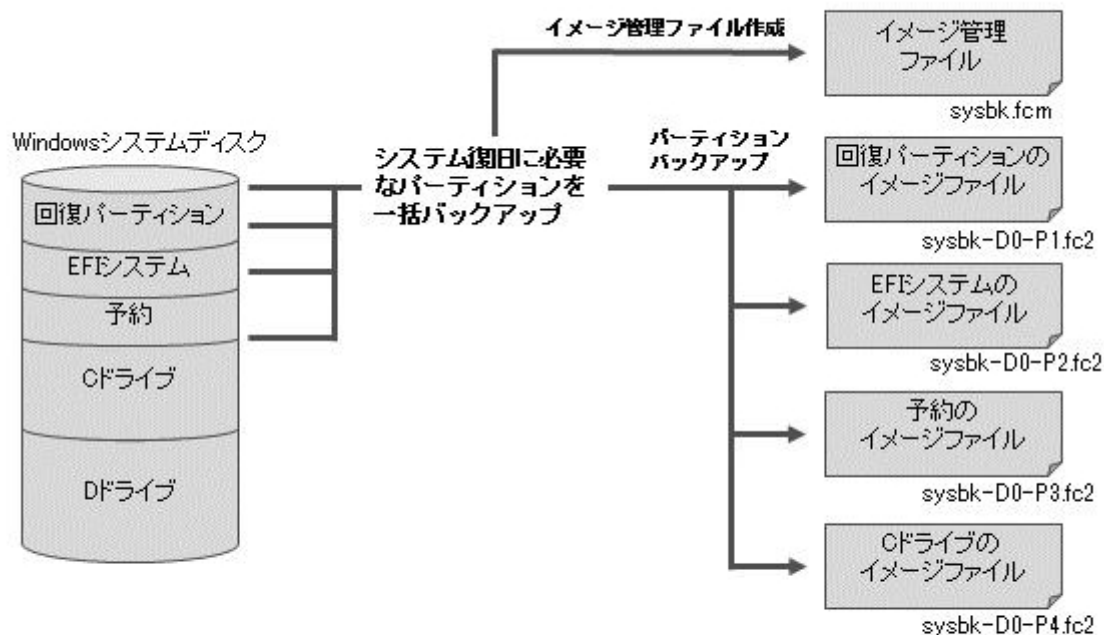
Windowsのシステム復旧に必要なパーティション (ブートパーティションやアクティブパーティションなど) を一括してバックアップ/リストアできます。

バックアップ時には、一括してバックアップされたパーティションのイメージファイルを管理するイメージ管理ファイル(FCMファイル)とパーティションのイメージファイル(FC2ファイル)が作成されます。

リストア時には、イメージ管理ファイル(FCMファイル)を選択してリストアを行うことにより、一括してバックアップされているパーティションをまとめてリストアできます。

Windows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016、Windows Server 2012 R2がインストールされたシステムに対して利用できます。

本機能は起動媒体で起動した場合、または、オンラインバックアップにて利用できます。



Windowsシステムの復旧に必要な、回復パーティション、EFIシステム、予約、Cドライブのパーティションがバックアップされ、イメージファイル(FC2ファイル)が作成されます。また、パーティションのイメージファイルを管理するイメージ管理ファイル(FCMファイル)が作成されます。

7. バックアップイメージファイルの複製

バックアップ時にバックアップイメージファイルをマスタ（正）と複製（副）の2箇所にそれぞれ格納できます。

注意：バックアップイメージファイルの複製は、バックアップイメージファイルが複数枚のリムーバブル媒体に格納される場合には指定できません。また、複製先でリムーバブル媒体の入れ替えが発生する場合には対応していません。

8. BitLockerで暗号化されたシステムのバックアップ/リストア

BitLockerで暗号化されたシステムディスクをバックアップ/リストアできます。また、BitLockerで暗号化されたパーティションにバックアップイメージファイルを保存できます。

(1) BitLockerで暗号化されたディスク/パーティションのバックアップ/リストア

BitLockerで暗号化されたパーティションはパーティション全域のバックアップを行います。バックアップするデータ量はパーティションサイズの合計となりますので、イメージファイルの保存先の空き容量にご留意ください。

リストアは、バックアップ時と同じサイズのパーティションに対してのみ可能です。異なるサイズのパーティションにはリストアできません。

(2) BitLockerで暗号化されたパーティションへのリストア

リストア先としてBitLockerで暗号化されたパーティションが指定された場合、パーティション上のデータを上書きしてリストアを行います。

BitLockerで暗号化されていたデータは削除されますので、リストア先の指定にご留意ください。

(3) BitLockerで暗号化されたパーティションへのバックアップイメージファイルの保存

BitLockerで暗号化されたパーティションにバックアップイメージファイルを保存できます。また、暗号化されたパーティションに保存されているバックアップイメージファイルを利用してリストアできます。

BitLockerで暗号化されたパーティションをバックアップイメージファイルの保存先として利用する場合、暗号化のロックを解除する回復キーが必要です。事前に暗号化を行ったWindows OS上のコントロールパネルなどで確認しておいてください。

注意：BitLockerで暗号化されたパーティションへのバックアップイメージファイルの保存は、起動媒体で起動した場合のみで対応しています。また、BitLockerで暗号化されたUSBメモリやデータカートリッジなどのリムーバブル媒体は、バックアップイメージファイルの保存先として使用できません。

9. その他

(1) バックアップイメージファイルの参照

パーティションのバックアップの際に、実際に使用されているデータのみをバックアップしたイメージファイルは、イメージファイルエクスプローラでパーティション内のフォルダ/ファイルの参照およびコピーを行うことができます。

(2) リカバリ起動媒体の作成

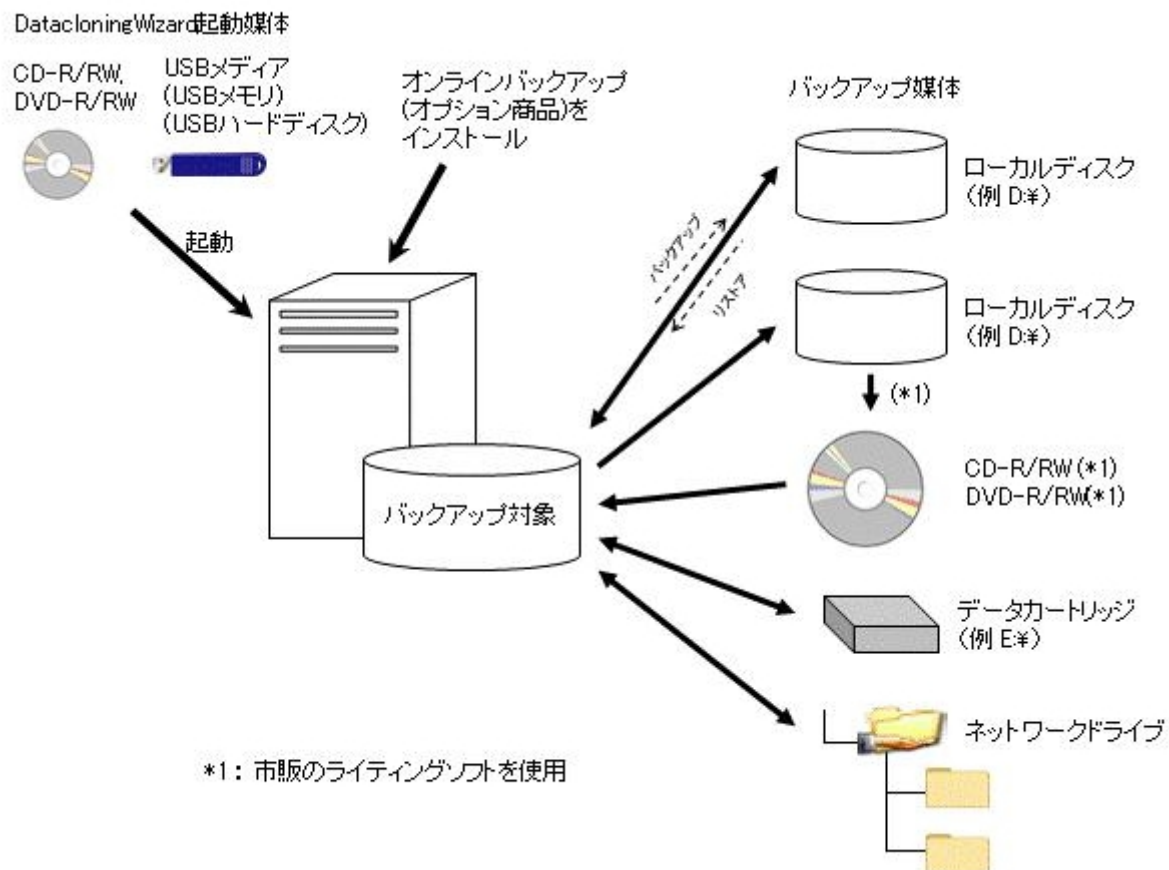
リカバリ専用の起動媒体を作成することで、DataCloningWizardの製品DVDが無くてもリストアを実行できます。複数の拠点でリカバリを実行する場合などに有効です。

(3) IPv6アドレスの対応

製品DVD、または、DataCloningWizard起動媒体で起動した場合、共有フォルダアクセスを行う時の自/相手ホストのIPアドレスにIPv6アドレスを使用できます。

(4) リムーバブル媒体のフォーマット

製品DVD、または、DataCloningWizard起動媒体で起動した環境上から、リムーバブル媒体(データカートリッジ)のフォーマット(NTFSフォーマット)を行うことができます。



V6.0L21からV6.1L10の機能強化項目は、以下のとおりです。

1. 2019年9月までに発表のPCサーバに対応

バックアップ/リストア対象のハードウェアとして、以下のPCサーバに対応しました。

- ・PRIMERGYシリーズ

RX2520 M5, TX2550 M5, CX2560 M5

標準添付品

- ・ オンラインマニュアル
 - DatacloningWizard for Server V6.1L10 ユーザーズガイド

【メディア】

- ・ DatacloningWizard for Server メディアパック V6.1L10

【ライセンス】

- ・ DatacloningWizard for Server サーバライセンス V6.1
- ・ DatacloningWizard for Server 仮想サーバライセンス V6.1

【オプションライセンス】

- ・ DatacloningWizard for Server オンラインバックアップオプション サーバライセンス V6.1
- ・ DatacloningWizard for Server オンラインバックアップオプション 仮想サーバライセンス V6.1

1. 商品体系の変更について

DatacloningWizard for Server V5.1までは、メディアにライセンスが一つ含まれた形態となっていました。DatacloningWizard for Server V6.1では、メディアとライセンスが分離されています。

メディアパックとライセンス商品をそれぞれ必要数分購入してください。

2. メディアパックについて

メディアパックは、媒体（DVD）のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。また、商品の導入にあたり、最低1本のメディアパックが必要です。バージョンアップ/レベルアップを目的に本メディアパックのみを手配することはできません。

3. サーバライセンス(物理環境)について

お客様は本商品のご購入により、PCサーバ/基幹IAサーバのディスクのバックアップ、もしくは、リストアを行うことができます。

基幹IAサーバ(PRIMEQUEST)の場合は、PRIMEQUEST上で動作しているシステム1つに対してサーバライセンスを1本購入してください。

仮想ホストのシステムのバックアップ、もしくは、リストアを行う場合はサーバライセンスを購入してください。

「DatacloningWizard for Server サーバライセンス V6.1」は、1ライセンスが提供されます。複数のPCサーバ/基幹IAサーバのバックアップ、もしくは、リストアを行う場合は、台数分の「DatacloningWizard for Server サーバライセンス V6.1」を購入してください。

4. 仮想サーバライセンス(仮想環境)について

お客様は本商品のご購入により、仮想マシンのディスクのバックアップ、もしくは、リストアを行うことができます。

「DatacloningWizard for Server 仮想サーバライセンス V6.1」は、1ライセンスが提供されます。複数の仮想マシンのバックアップ、もしくは、リストアを行う場合は、台数分の「DatacloningWizard for Server 仮想サーバライセンス V6.1」を購入してください。

5. オンラインバックアップオプションについて

お客様は本商品のご購入により、オンラインバックアップ機能をPCサーバ/基幹IAサーバ、または、仮想マシンにインストールしてオンラインバックアップを行うことができます。

(1) 物理マシンのオンラインバックアップを行う場合について

物理マシンのオンラインバックアップを行う場合は、「DatacloningWizard for Server サーバライセンス V6.1」と、「DatacloningWizard for Server オンラインバックアップオプション サーバライセンス V6.1」を購入してください。

「DatacloningWizard for Server オンラインバックアップオプション サーバライセンス V6.1」は、PCサーバ/基幹IAサーバに対する1ライセンスが提供されます。複数のPCサーバ/基幹IAサーバでオンラインバックアップを行う場合は、オンラインバックアップを行うシステム数分の「DatacloningWizard for Server サーバライセンス V6.1」と、「DatacloningWizard for Server オンラインバックアップオプション サーバライセンス V6.1」を購入してください。

(2) 仮想マシンのオンラインバックアップを行う場合について

仮想マシンのオンラインバックアップを行う場合は、「DatacloningWizard for Server 仮想サーバライセンス V6.1」と、「DatacloningWizard for Server オンラインバックアップオプション 仮想サーバライセンス V6.1」を購入してください。

「DatacloningWizard for Server オンラインバックアップオプション 仮想サーバライセンス V6.1」は、仮想マシンに対する1ライセンスが提供されます。複数の仮想マシンでオンラインバックアップを行う場合は、台数分の「DatacloningWizard for Server 仮想サーバライセンス V6.1」と、「DatacloningWizard for Server オンラインバックアップオプション 仮想サーバライセンス V6.1」を購入してください。

6. 1台のPCサーバ(物理環境)をバックアップ/リストアする場合の購入例

PCサーバのディスクをバックアップし、元のPCサーバにリストアを行う時には、メディアパックとサーバライセンスが必要です。

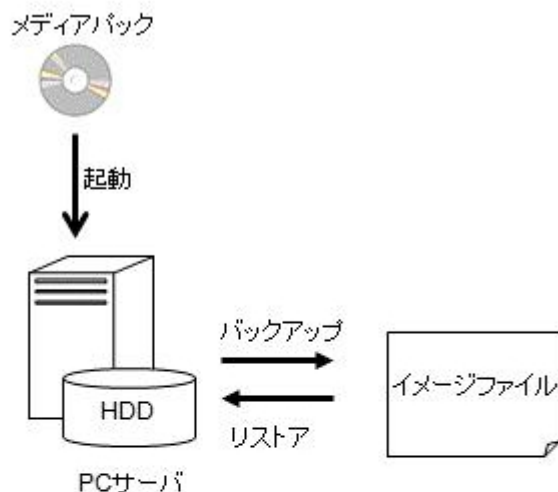
製品の購入例

- 1台のPCサーバでバックアップ/リストアを実施する場合

「DatacloningWizard for Server メディアパック V6.1L10」 × 1

「DatacloningWizard for Server サーバライセンス V6.1」 × 1

1台のPCサーバをバックアップ/リストアする場合



- ・メディアパックが1本必要。
- ・バックアップ、もしくは、リストアを行うPCサーバ1台に1ライセンス必要

7. 複数台のPCサーバ(物理環境)をバックアップ/リストアする場合の購入例

複数台のPCサーバのディスクをバックアップし、リストアする場合、PCサーバ台数分のサーバライセンスが必要です。また、最低1本のメディアパックが必要です。

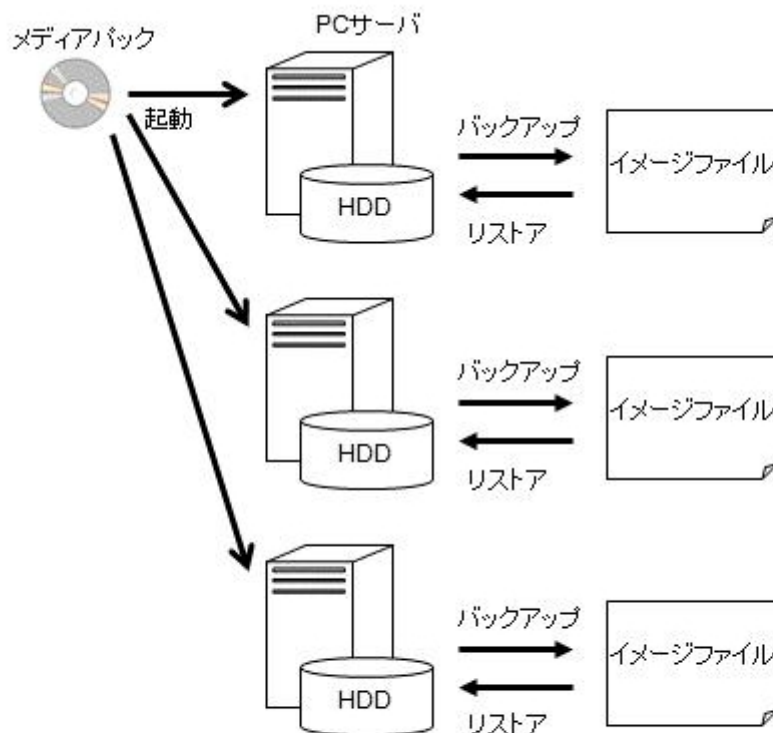
製品の購入例

- 3台のPCサーバでバックアップ/リストアを実施する場合

「DatacloningWizard for Server メディアパック V6.1L10」 × 1

「DatacloningWizard for Server サーバライセンス V6.1」 × 3

メディアパックは必要に応じて追加購入してください。



- ・メディアパックが最低1本必要。
(必要に応じて追加購入してください。)
- ・バックアップ、もしくは、リストアを行うPCサーバ3台に3ライセンス必要。

8. PCサーバ(物理環境)のオンラインバックアップを行う場合の購入例

PCサーバにオンラインバックアップ機能をインストールし、ディスクのオンラインバックアップを行う場合、オンラインバックアップ、もしくは、リストアを行う台数分のサーバライセンスとオンラインバックアップオプション サーバライセンスが必要です。また、最低1本のメディアパックが必要です。

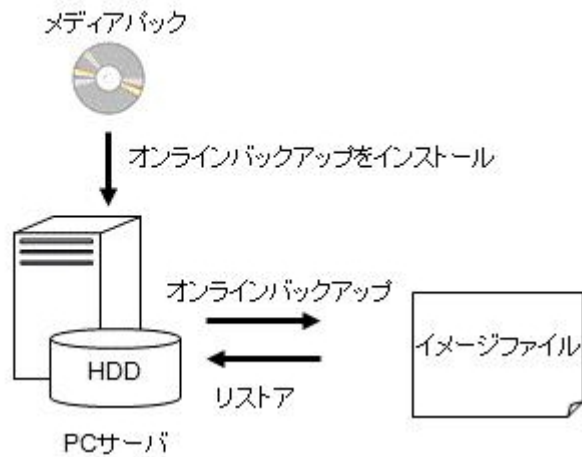
製品の購入例

- 1台のPCサーバにオンラインバックアップ機能をインストールし、ディスクをオンラインバックアップして、元のPCサーバにリストアを行う場合

「DataCloningWizard for Server メディアパック V6.1L10」 × 1

「DataCloningWizard for Server サーバライセンス V6.1」 × 1

「DataCloningWizard for Server オンラインバックアップオプション サーバライセンス V6.1」 × 1



- ・メディアパックが1本必要。
- ・オンラインバックアップ、もしくは、リストアを行うPCサーバ1台に、サーバライセンスが1ライセンス、オンラインバックアップオプションサーバライセンスが1ライセンス必要

9. 仮想ホスト(物理環境)と仮想マシン(仮想環境)のバックアップ/リストアを行う場合の購入例

仮想ホストのディスクと仮想マシンのディスク(仮想ディスク)をバックアップし、リストアする場合、仮想ホスト台数分のサーバライセンス、仮想マシン台数分の仮想サーバライセンスが必要です。また、最低1本のメディアパックが必要です。

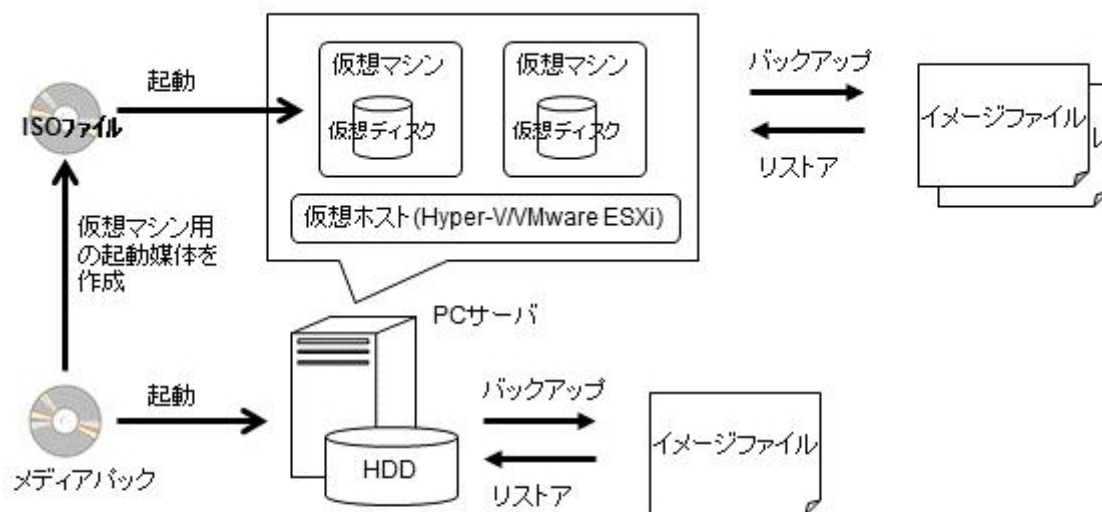
製品の購入例

- 1台の仮想ホスト(PCサーバ)のディスク、2台の仮想マシンのディスクをバックアップする場合

「DatacloningWizard for Server メディアパック V6.1L10」 × 1

「DatacloningWizard for Server サーバライセンス V6.1」 × 1

「DatacloningWizard for Server 仮想サーバライセンス V6.1」 × 2



- ・メディアパックが1本必要。
- ・バックアップ、もしくは、リストアを行うPCサーバ(仮想ホスト)にサーバライセンスが1ライセンス必要。
- ・バックアップ、もしくは、リストアを行う仮想マシン2台に仮想サーバライセンスが2ライセンス必要。

10. 仮想マシン(仮想環境)のオンラインバックアップを行う場合の購入例

仮想マシンにオンラインバックアップ機能をインストールし、ディスクのオンラインバックアップを行う場合、オンラインバックアップ、もしくは、リストアを行う台数分の仮想サーバライセンスとオンラインバックアップオプション 仮想サーバライセンスが必要です。また、最低1本のメディアパックが必要です。

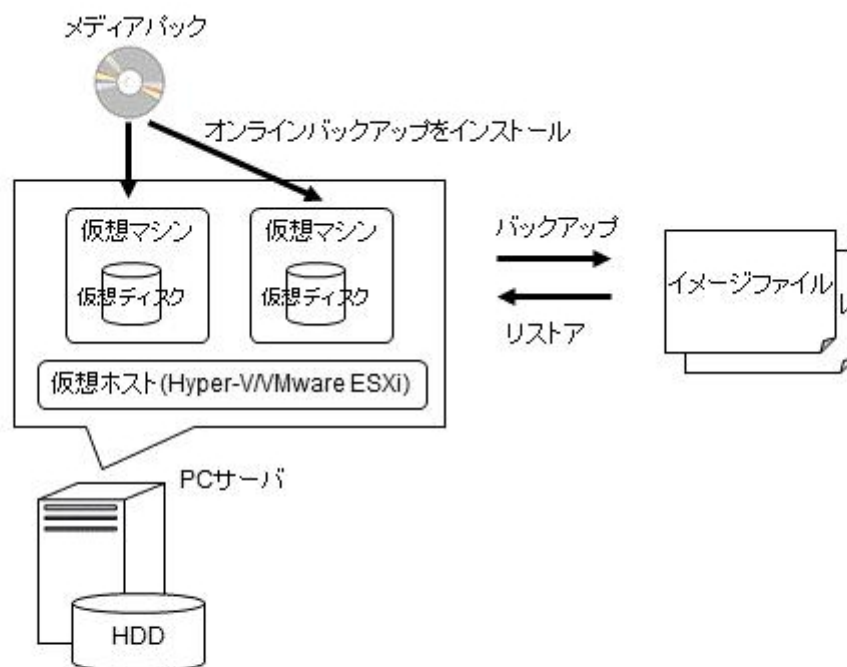
製品の購入例

- 2台の仮想マシンにオンラインバックアップ機能をインストールし、ディスクをオンラインバックアップして、元の仮想マシンにリストアを行う場合

「DataCloningWizard for Server メディアパック V6.1L10」 × 1

「DataCloningWizard for Server 仮想サーバライセンス V6.1」 × 2

「DataCloningWizard for Server オンラインバックアップオプション 仮想サーバライセンス V6.1」 × 2



- ・メディアバックが1本必要。
- ・オンラインバックアップ、もしくは、リストアを行う仮想マシン2台に仮想サーバライセンスが2ライセンス、オンラインバックアップオプション仮想サーバライセンスが2ライセンス必要

11. V5.0以降の商品からのバージョンアップ/レベルアップについて

V5.0以降の本商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新バージョン/レベルを提供いたします。（お客様からのご要求が必要です。）

「SupportDesk」を導入されていない場合は、新バージョン/レベルの本体商品およびライセンス商品を改めてご購入頂く必要があります（価格の優遇はございません）のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問い合わせください。

1. 法人向けパソコンで使用する場合

法人向けパソコンで使用する場合は、以下の商品をご利用ください。

- ・DatacloningWizard for Workstation V6.0

2. ネットワーク経由でのPCサーバ/基幹IAサーバ/VMware ESXi仮想マシンのバックアップ/リストアを行う場合

ネットワーク経由でのPCサーバ/基幹IAサーバ/VMware ESXi仮想マシンのバックアップ/リストアを行う場合は、以下の商品をご利用ください。

- ・SystemcastWizard Professional V6.0

DatacloningWizard for Serverのライセンスを購入されたお客様は、そのライセンスを適用したPCサーバ/基幹IAサーバ/VMware ESXi仮想マシンにおいて、追加費用なしでSystemcastWizard Professional V6.0を利用したバックアップ/リストアが可能です。

詳細は、SystemcastWizard Professional V6.0のソフトウェアガイドをご覧ください。

1. 対応機種情報【PRIMERGY関連情報】

Windows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016、または、Windows Server 2012 R2をサポートする2017年以降に発表されたPRIMERGYに対応します。

最新の機種情報、詳細な留意事項については、以下のホームページをご覧ください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/dcw/>

起動可能なDVD-ROMドライブが必要です。

2. 対応機種情報【PRIMEQUEST関連情報】

PRIMEQUEST 4000シリーズ、PRIMEQUEST 3000シリーズに対応します。

最新の機種情報、詳細な留意事項については、以下のホームページをご覧ください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/dcw/>

起動可能なDVD-ROMドライブが必要です。

PRIMEQUEST 4000シリーズは、メディアの版数表記が「V6.1L10C」（2023年10月17日から出荷開始）より対応します。

1. バックアップ/リストアについて

バックアップ/リストアは同じ構成のハードウェアで行ってください。

2. CD-R/RW、DVD-R/RWへの格納について

CD-R/RW、DVD-R/RWへの格納は、分割したバックアップイメージファイルを一旦ディスク上に作成してください。

3. 本製品の各バージョン、レベル間でのイメージファイルの互換性

- ・本製品はDatacloningWizard V2.3以降で作成されたイメージファイルを使用できます。
- ・本製品で作成したイメージファイルは、V6.0L21以前では使用できません。

4. 仮想環境のサポートについて (Hyper-V, VMware ESXi)

本商品は以下のバックアップ/リストアに対応しています。

- ・Hyper-Vがインストールされたシステムのバックアップ/リストア
- ・VMware ESXi 8.0、VMware ESXi 7.0、VMware ESXi 6.7、VMware ESXi 6.5、および、VMware ESXi 6.0がインストールされたシステムのバックアップ/リストア
- ・Hyper-Vの仮想マシン上のシステムディスク(仮想ディスク)のバックアップ/リストア
- ・VMware ESXiの仮想マシン上のシステムディスク(仮想ディスク)のバックアップ/リストア

仮想マシンのリストアを行う場合、リストア対象の仮想マシンおよび仮想マシン上のシステムディスク(仮想ディスク)を事前に作成しておく必要があります。

Windows Server 2022 Hyper-V、Windows Server 2019 Hyper-VおよびWindows Server 2016 Hyper-VのShielded VMの仮想マシンはバックアップ/リストアできません。

5. ダイナミックディスク (ダイナミックボリューム) への対応

ダイナミックディスク (ダイナミックボリューム) には対応していません。

6. 暗号化ディスク / ボリュームへの対応

BitLockerで暗号化されたディスク/ボリュームのバックアップ/リストアに対応しています。

BitLocker以外の暗号化ディスク/ボリュームのバックアップ/リストアには対応していません。

7. LVMへの対応

Red Hat Enterprise Linuxで作成可能なLVMには対応していません。

8. ソフトウェアRAIDへの対応

Linuxで作成されたソフトウェアRAIDには対応していません。

9. Active Directoryドメインコントローラのシステムのバックアップ/リストア

製品DVDまたは起動媒体でPCサーバ/基幹IAサーバ、または、仮想マシンを起動してバックアップ/リストアを行う場合は、Active Directoryドメインコントローラのシステムボリュームを対象としたバックアップ/リストアはサポートしていません。

Active Directoryドメインコントローラのシステムボリュームのバックアップを行う場合には、オンラインバックアップを行ってください。

オンラインバックアップを利用するためには、オプション商品を購入する必要があります。

Windows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016、Windows Server 2012 R2のActive Directoryドメインコントローラのシステムのバックアップ/リストアに対応しています。

10. Active Directoryドメインのメンバサーバのシステムのバックアップ/リストア

Active Directoryドメインのメンバサーバのシステムボリュームをバックアップし、リストアした場合は、システムの起動後にActive Directoryドメインへの再参加を行ってください。

11. iSCSIで接続されているディスクについて

ソフトウェアイニシエータを必要とするiSCSIで接続されているディスクにイメージファイルを格納することはサポートしていません。

12. ディスク情報の表示に時間がかかる場合について

ディスク情報を表示する画面の表示(*1)におよそ 30秒～1分程度時間がかかる場合があります。発生条件はデバイスの接続状態（種類や数）に依存します。

画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

(*1) ディスク情報を表示する操作には、バックアップ対象の選択、リストア先の選択、ディスク管理などがあります。

13. DVD-RAMへ直接イメージファイルを保存する場合について

DVD-RAMはエラーレートが高くバックアップ媒体に適さないため、本製品ではDVD-RAMを使用したバックアップ/リストアはサポートしません。

14. Storage Spacesの対応について

Storage Spacesが存在するシステムのバックアップ/リストアを行う場合は、起動媒体が必要となります。詳細についてはマニュアルを参照の上ご使用ください。

15. 起動媒体にUSBメディア(USBメモリまたはUSBハードディスク)を使用する場合について

- ・お使いのPCサーバ/基幹IAサーバがご利用になるUSBメディアから起動可能か事前にご確認ください。
- ・ハードウェア暗号化機能を備えたUSBメディアは使用できません。また、暗号化されているボリュームは使用できません。
- ・32GB以上の大きさのボリュームに起動媒体を作成することはできません。
- ・GPT形式のUSBメディアは使用できません。
- ・起動媒体として使用するボリュームはFAT32形式で再フォーマットするため、事前にファイルやフォルダを格納しておくことはできません。起動媒体を作成した後、Windowsのエクスプローラーなどで格納してください。
- ・USBメモリには複数のボリュームを作成することはできません。そのため、起動媒体で利用するボリュームを作成した残りの空き領域は使用できません。

16. 起動媒体作成のためのツール(Windows ADK)のインストールについて

(1) 複数のツール(Windows ADK)を同時にインストールしないでください。コントロールパネルから [プログラムと機能] を選択し、既に他のツールがインストールされていないか確認してください。

(2) ツール(Windows ADK)のインストール時に、デフォルトのインストール先が誤って表示される場合があります。

デフォルトのインストール先を誤ったパスのままインストールすると、起動媒体のWindows PEの作成で失敗する場合があります。

インストール時に、表示されているデフォルトのインストール先を修正するか、任意のインストール先を指定してください。

17. オンラインバックアップ機能の留意事項

(1) オンラインバックアップ機能のWindowsサーバOS(64-bit)上での動作

本商品のオンラインバックアップ機能は、以下のOS上で64ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows Server 2022
- Windows Server 2019

- Windows Server 2016

- Windows Server 2012 R2

(2) ボリュームシャドウコピーの記憶領域、保存世代

オンラインバックアップでは、Windowsサーバのボリュームシャドウコピー機能を利用します。ボリュームシャドウコピーの記憶領域や世代保存数に空きがない場合、保存されている一番古いシャドウコピーが削除されます。

(3) VSSに対応していないアプリケーションへの対応

VSSに対応していないアプリケーションが動作している場合には、バックアップ時にアプリケーションの動作（サービスなど）を停止するか、製品DVD起動によるオフラインバックアップを行ってください。

(4) Windowsエラー回復処理画面の表示

オンラインバックアップでバックアップしたWindows Serverシステムのリストアを行った後、リストアしたシステムを起動すると、「Windowsエラー回復処理」画面が表示されます。「Windowsを通常起動する」を選択してシステムを起動してください。

(5) シャットダウンイベントの追跡ツールの起動

オンラインバックアップでバックアップしたシステムのリストアを行った後、リストアしたシステムを起動すると、最初の管理者のログオン時に「シャットダウンイベントの追跡ツール」が起動されます。理由やコメントを入力し、[OK]をクリックしてください。

(6) VSS機能を利用する他ソフトウェアがインストールされている場合

VSS機能を利用してバックアップを行うソフトウェアやアプリケーションが動作している場合、Datacloning Wizardのオンラインでのバックアップ/リストア機能は正常に動作しない場合があります。

(7) オンラインバックアップ実行時のイメージ保存領域について

オンラインバックアップ実行時、以下の領域にイメージファイルを保存した場合、製品DVDや起動媒体でシステムを起動してリストアを行うオフラインリストア時には、イメージファイルが参照できない場合があります。この場合、システム領域のリストアが実施できません。ご注意ください。

- ・ダイナミックディスクで構成された領域
- ・ReFSでフォーマットされた領域
- ・シャドウコピーが有効になっている領域
- ・暗号化されている領域
- ・ソフトウェアイニシエータを必要とするiSCSIで接続されたディスク

(8) Hyper-Vの仮想マシン上で利用する場合の留意事項

- ・バックアップ/リストア実行中のライブマイグレーション、クイックマイグレーション、インポート/エクスポート、フェールオーバーには対応していません。
- ・Hyper-Vレプリカ機能を利用している環境には対応していません。

(9) VMware ESXiの仮想マシン上で利用する場合の留意事項

- ・バックアップ/リストア実行中のvMotionには対応していません。
- ・FT機能やDR機能を利用している場合には、復旧先で必要に応じてバックアップ/リストアを実施してください。
- ・クローニング機能(仮想マシンの複製)を利用した場合には、必要に応じてバックアップ/リストアを実施してください。

(10) その他

- ・リモートコンピュータのバックアップを実行するなどのリモート操作を行う機能はありません。
- ・オンラインバックアップ動作時のパフォーマンスの制御（CPU使用量の制限やディスクアクセス頻度の制御など）は行いません。そのため、オンラインバックアップ中はCPU使用率やディスクアクセスの頻度が増加し、システム全体のパフォーマンスに影響が出る可能性があります。
- ・バックアップはボリューム内のすべてのデータをバックアップする完全バックアップのみです。前回のバックアップからの差分/増分のみをバックアップする機能はありません。

18. VMware ESXiの暗号化された仮想マシンのイメージファイルについて

暗号化された仮想マシン上のディスク(仮想ディスク)は、暗号化が解除された状態でバックアップされます。

Dataoning Wizard起動媒体ではバックアップ/リストアを行う際は、ユーザー認証などで意図しない使用を防止することが出来ません。

バックアップされたイメージファイルの管理には十分ご注意ください。

19. 本製品の移行上の注意事項

本製品のバージョンアップ、レベルアップに際しては以下の注意事項があります。

(1) V5.0L50以前からの差異

V5.0L50よりDVD-RAMのサポートを中止しました。

(2) V5.1L10以前からの差異

V5.1L10より製品CDで起動した時のドライブ文字の割り当て処理を変更しました。

内蔵HDDにバックアップする時、または内蔵のHDDに格納されているイメージファイルからリストアする時は、事前にイメージファイルが格納されている区画に対して、ドライブ文字の割り当てを行ってください。詳しくは製品添付のユーザズガイドを参照してください。

(3) V5.1L30からの差異

- ・ PRIMEQUEST 1000シリーズのサポートを中止しました。
- ・ 物理環境でのWindows Server 2003、Windows Server 2003 R2のサポートを中止しました。
- ・ Red Hat Enterprise Linux 4のサポートを中止しました。
- ・ 起動用フロッピーを作成して起動する運用についてはサポートを中止しました。
- ・ 仮想ハードディスクファイル形式(VHD形式)でのバックアップについてはサポートを中止しました。旧製品でバックアップされた仮想ハードディスクファイル形式(VHD形式)をリストアすることは可能です。
- ・ M0をイメージファイルの格納先としたバックアップ/リストアについてサポートを中止しました。

(4) V6.0L21からの差異

- ・ PRIMEQUEST 2000シリーズのサポートを中止しました。
- ・ Windows Server 2008、Windows Server 2008R2、Windows Server 2012のサポートを中止しました。
- ・ 仮想環境でのWindows Server 2003、Windows Server 2003 R2のサポートを中止しました。
- ・ Red Hat Enterprise Linux 5のサポートを中止しました。
- ・ SUSE Linux Enterprise Server 12のサポートを中止しました。
- ・ VMware ESXi 5.5のサポートを中止しました。
- ・ Windows 8.1 Update用Windowsアセスメントデプロイメントキット(Windows ADK)を利用した起動媒体作成を中止しました。
- ・ バックアップ/リストア対象のファイルシステムから、Btrfsのサポートを中止しました。

20. 製品DVDを利用したコンピュータの起動

メディアの版数表記が「V6.1L10A」(2020年4月10日から出荷開始)より、製品DVDを利用して対象コンピュータを起動し、バックアップ/リストアを行うことに対応します。

21. PRIMEQUEST 4000シリーズでの利用

メディアの版数表記が「V6.1L10C」(2023年10月17日から出荷開始)より、PRIMEQUEST 4000シリーズのバックアップ/リストアに対応します。

お客様向けURL

- ・ ソフトウェア（DatacloningWizard）

本商品の製品情報を掲載しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/software/dcw/>

- ・ FUJITSU Software（ソフトウェアの一覧表（システム構成図）と各種対応状況）

価格/型名の一覧（システム構成図）を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/>

- ・ FUJITSU Software（ライセンス）

富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/licensesupport/>